

かしま 議会だより

第109号

令和4年3月議会号

令和4年4月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



退任される樋口市長との記念写真 ～12年間おつかれさまでした～

定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
一般質問(9名)	P6～P10
討論	P11
審査報告	P12
意見書	P13
要望書	P14
決議	P15
議会あれこれ	P16



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索

議会あれこれ (令和4年1月～3月)

1月

- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 議会報告会プロジェクト会議
- 11日 議会運営委員会
全員協議会
- 13日 佐賀県市議会正副議長会
- 17日 総務建設環境委員会
- 19日 文教厚生産業委員会
- 25日 全員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 28日 議会運営委員会

2月

- 7日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
事前勉強会
- 8日 議会運営委員会
- 14日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会2月定例会
- 15日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
- 16日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 17日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会
- 18日 佐賀県西部広域環境組合議会2月定例会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 文教厚生産業委員協議会
3月定例会 開会 議案の上げ(～3月25日)
全員協議会
議会報告会プロジェクト会議

3月定例会において、松尾勝利議員の辞職の報告、また、稲富雅和議員の辞職の許可がなされ、2名が議員を辞職されました。

3月

- 2日 3月定例会 議案審議 質疑、討論、採決(～3日)
- 4日 総務建設環境委員会
- 8日 議会運営委員会
全員協議会
3月定例会 審議
新年度予算審査特別委員会 開会(～15日)
- 17日 議会運営委員会
3月定例会 一般質問(～22日)
- 22日 全員協議会
- 24日 SAGA2024佐賀県実行委員会総会
- 25日 全員協議会
3月定例会
議案審議、質疑、採決、委員会報告 閉会
SAGA2024鹿島市実行委員会設立総会
- 28日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会 閉会
議会だより編集委員会

行政視察受入状況 (令和4年1月～3月)

行政視察受入れは、ありませんでした。

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	0	0	0	0	0	0	0	0
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

編集後記

春、出会いと別れの季節。この度、12年間鹿島市のトップを担っていたいただいた樋口久俊市長が勇退され、5月から新市長のもと新しい鹿島市がスタートします。新しい風を吹かせていただいた樋口市長に感謝申し上げ、議会でも新たな3名の議員と共に、残りの任期1年を角田議長のもとで一丸となって頑張つてまいります。

編集委員は今回で交代となります。ご愛読いただきまして本当にありがとうございます。ごさいました。



令和3年度 かしま議会だより編集委員会

編集委員長 中村 一堯
編集委員 松尾 征子
顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

鹿島市議会
令和4年3月定例会 会期日程

1、会期
自 令和4年2月24日
至 令和4年3月25日

2、日程
【2月】
24日・開会

・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程

25日・休会(議案研究)
(市長の提案理由説明)
(発言内容通告締切)

26日・休会
27日・休会
28日・休会(議案研究)

【3月】

1日・休会(議案研究)
2日・議案審議、質疑、討論、採決
3日・議案審議、質疑、討論、採決
4日・常任委員会
5日・休会
6日・休会

7日・休会(議案整理)
8日・3月定例会 審議
・新年度予算審査特別委員会
(開会、建設環境部)

9日・新年度予算審査特別委員会
(産業部)

10日・新年度予算審査特別委員会
(教育委員会ほか)

11日・休会(議案整理)

12日・休会

13日・休会

14日・新年度予算審査特別委員会
(市民部)

15日・新年度予算審査特別委員会
(総務部、審査、討論、採決)

16日・休会(議案整理)

17日・一般質問(4名)

18日・一般質問(2名)

19日・休会

20日・休会

21日・休会

22日・一般質問(3名)
23日・休会(議案整理)
24日・休会(議案整理)
25日・委員会審査報告
・議案審議、質疑、討論、採決
・閉会

次のことを審議し決定しました

【3月定例会】

		中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
議案第1号	専決処分事項の承認について(令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第9号))	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第2号	専決処分事項の承認について(令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第10号))	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第3号	令和4年度鹿島市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第4号	令和4年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第5号	令和4年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第6号	令和4年度鹿島市給与管理特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第7号	令和4年度鹿島市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第8号	令和4年度鹿島市下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第9号	鹿島市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第10号	鹿島市空き家等の適正管理に関する条例(全部改正)の制定について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第11号	鹿島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第12号	鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第13号	鹿島市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第14号	鹿島市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第15号	令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第11号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第16号	令和3年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第17号	令和3年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第18号	令和3年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第2号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第19号	令和3年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第20号	令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第12号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第21号~32号	鹿島市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任
意見書第1号	有明海再生の対策と赤潮被害への支援を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
決議第1号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議し、即時撤退を求める決議(案)	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 ※・・・監査委員のため審議に参加できない

議案審議

議案第3号

令和4年度鹿島市一般会計予算について



松田 義太 議員

質問 新年度予算については、市長改選期であるための骨格予算になっている。今後、ポストコロナを見据え、観光業、特

に祐徳門前商店街、肥前浜宿酒蔵通り、飲食業、バス・タクシー業界等への支援策の検討をお願いしたい。

答弁 九州新幹線西九州ルート開業に向け様々な観光キャンペーンが企画され、国・県の支援策等も考慮しながら、担当課としても取り組んでいき



観光客で賑わう祐徳門前商店街

たい。

議案第10号

鹿島市空き家等の適正管理に関する条例(全部改正)の制定について



徳村 博紀 議員

質問 条例の9条に「市長が別に定めるところにより必要な支援」とある。

答弁 現行の支援体制以外に支援体制があるのか？また、多くの場合、補助金・助成金を受けようとする人は税金の滞納がないことが前提となっている。この制度もそれが前提か。

答弁 支援策については現段階で、市で2つ、国で2つある。今後実態調査を行い、空き家対策計画を作成し、空き家対策協議会を立ち上げ、その中で協議していきたいと考えている。

対象が税金滞納者の場合、市民の皆様のご理解が必要となる。危険な空き家の場合はいったん事も含め、協議会の中で決めていくことになる。

議案第4号

令和4年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について



松尾 征子 議員

質問 国保税未就学児の均等割五割補助が提案されました。国保税を引き下げるために、未成年

者の均等割を軽減することを提案し続けています。未成年者すべて軽減するなどの幅広い財源が必要か。

答弁 国保世帯の未成年者736名、世帯数373世帯、五割軽減で、800万円、全額軽減で1600万円。

質問二 子供達のため、国保税引き下げのため1600万円支出すべき。意見 国にも要求して全額軽減を。



中村 一堯 議員

質問 育児や介護で休業が必要な職員さん、臨時職員さんたちへどのような形で何割くらいの給料が支払われるか。また、

答弁 休業により鹿島市から支払われる給料はないが、育児休業の場合は共済組合や雇用保険から180日間は100分の67の育児休業手当金が支払われる。同じように

介護休暇は、66日間は100分の67の介護休業手当金が支払われる。議員が仰るように、該当される方が採用試験を受けるときに不利にならないようにする。

今後、契約の変更等が必要となるので、改めて報告する。

議案第15号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第11号)について



樋口 作一 議員

質問 児童手当、児童扶養手当について

答弁 児童手当は、前年の実績をもとに予算化しているが、出生数の減少が減額補正の原因である。出生数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響もあると考えられ、婚姻数は平成30年の121年から、令和元年114、令和2年100と減少し、出生

数も同じく249、226、211と少なくなっている。児童扶養手当の減額は、所得制限を超える家庭の増加が原因である。

協議に時間を要したこと、地元調整に不測の日数を要したこと等である。新年度事業に影響を及ぼさないように、事業の進行管理を行い前倒しで実施している。

議案第15号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第11号)について



勝屋 弘貞 議員

質問 市民会館建設について

答弁 11月末の完成予定だったが、現在2ヶ月ほど遅れており、業者と協議を行った結果、進捗状況・工程を考えて令和5年3月末、予定より4ヶ月ほど遅れる見込みである。理由は、基礎工事における転石処理に1ヶ月ほど余分にかかったことや、コロナ禍による工事の中断など。

今後、契約の変更等が必要となるので、改めて報告する。



建設中の市民会館

議案第15号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第11号)について



中村 和典 議員

質問 翌年度に繰越して使用する繰越明許費が、22事業で8億70万円が計

上されている。年度内の執行率は、3分の1で、残りの3分の2は翌年度に使うことになっている。このような状況が毎年繰り返されているが、その理由及び翌年度への影響はないのか。

答弁 繰り越す理由は、国の補正予算時期に伴う計上や施工箇所の選定や

議案第20号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第12号)について



伊東 茂 議員

質問 海苔養殖不作対策、施肥費用補助関連

赤潮が発生し、施肥は翌年1月下旬まで21回を数えた。施肥費用の一部補助797万円は当然行うべきである。しかし、鹿島市沖合の海況変化の原因究明が急務である。担当課と市長の答弁を求め

答弁一(担当課) 栄養塩の低下、プランクトン

の発生により色落ちの被害が広がった。県有明水産センターと協議し、解決策を探っていく。

議案審議

一般質問に9人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

下記のQRコードを読み取っていただければ、3月17日、18日、21日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【3月17日】



議員 正 征子
議員 松尾 元博
議員 杉原 日出代
議員 中村 日出代

【3月18日】



議員 樋口 作二
議員 池田 廣志

【3月22日】



議員 中村 和典
議員 松田 義太
議員 伊東 茂

※議場では、新型コロナウイルス感染予防のためアクリル板を使用して質問、答弁をしています。

市の施設整備について

質問一 ピオの3・4階に整備された「かたらい」は整備時に賛否両論があった。市長のお考えはどうだったのか。

答弁 まず市民が集える場所を整備する必要があった。政策判断としてピオ整備決めた。政治運動としての住民訴訟もあった。現在子育て支援センター等として市外の方も利用される施設となった。

質問二 新世紀センターは水道課・環境下水道課・防災センター・佐賀県の農林事務所と土木事務所の連絡所として整備された。市長の思いは。

答弁 当時保健所や登記所が移転していた。鹿島から県の施設が無くなりそうだった。それを防ぐ

樋口市長の12年間の市政を振り返って

ために活動した結果、武雄・鹿島農林事務所を統合して鹿島に置けた。建設は鹿島市が行い県が家賃負担してもらっている。

これからの鹿島市の在り方についての市長の考えは

質問一 鹿島市民会館建設についての考え方は。

答弁 市民会館は市民が集って、ある出し物が終わっても来場者が帰らない施設にしたい思いで建設している。

質問二 肥前鹿島駅と駅前広場整備について考えは。

答弁 駅舎とロータリーは佐賀県が整備し、駅前や周辺整備は鹿島市が行う。肥前浜駅整備や七浦駅と飯田駅も整備される。

質問三 鹿島市と県や近隣市町との協力関係は。

答弁 道路整備や観光事



松尾 征子議員

トイレ個室に生理用品の配置を

質問一 「女子トイレ個室に生理用品の配置を」と昨年6月議会での質問に対して「常備が効果的ということとは間違いありませんので今後どういう方法が子供たちにとって適切なかということについて学校とも相談しながら検討していきたい」ということを考えております」との答弁でした。その後どのように取り組まれてきたのか。

答弁 昨年の答弁で保健室に常備していることをお答えしている。県は、昨年9月から11月にかけて県内の公立高校数校をモデル校として取り組んで、問題なく好評だったので新年度については県内の公立高校に予算化して配置することになった。鹿島市としては、市内一校で保健室と学年のトイレに取り組んでいる。

質問二 積極的お答えだったと思いますが、今取り組まれているのはトイレのどこに置かれているのか。学年のトイレとこのどこに配置しているのか。

答弁 お手洗いの洗面台に配置している。

質問三 当然のことと言っても、私も経験ありますが当事者にとっては心の痛む問題です。本当に子供たちのためにやるのなら保健室でもしょうが、トイレの個室に配置すべきです。今回骨格予算です。年度内に補正予算を組んで早急に実現し



杉原 元博議員

鹿島市の魅力の発信について

質問一 鹿島市の魅力を行政はどのように捉えているのか。

答弁 先人から受け継いだ豊かな自然や風土・歴史や文化・伝承芸能・食・ものづくりの力・ひと・地域の絆など有形無形の誇るべきものと、多くの観光資源を有している。

質問二 若い人達に鹿島の良さをもっと知ってもらうための周知について聞く。

答弁 ふるさと教育の一環で「地域と繋がる高校魅力づくりプロジェクト」等を実施している。

質問三 小中学校でのふるさと教育は。

答弁 主に「総合的な学習の時間」で、郷土について学び、愛着を持つことが大切だと考えて教育を行っている。

質問四 鹿島出身の政治

教育者「田澤義輔」氏についてどのように伝えていくのか聞く。

答弁 出前講座による小中高生への学習・紹介、ユースカレッジによる市内企業の新規採用者・新社会人への講座、記念イベント等を計画している。

マイナンバーカードの普及と活用について

質問一 デジタル社会の基盤としてのマイナンバーカードの役割について聞く。

答弁 主に三点。①時間や場所に制約されずに行政サービスを受けることができる。②手続きがオンラインでできる。③行政の業務などを効率化する事が出来る。

質問二 利用状況について聞く。

答弁 身分証明書、健康保険証、コロナワクチン

接種の電子証明書などが主な利用。

質問三 マイナポイントの手続きについて。

答弁 本年3月号市報及びHPで紹介しているのをご覧いただきたい。市民課でも手続き・操作のお手伝いしている。

質問四 市民への普及促進について聞く。

答弁 毎週木曜日の時間外や土日にも月に数回市民課窓口を開庁し対応。また各種イベント時に臨時で申請ブースを設けたりした。

質問五 今後どのような場面で活用を推進していくのか。

答弁 公金受取口座の登録、住民票・印鑑登録証明等のコンビニ交付や運転免許証との一体化計画など、地域住民に寄り添い対応する。



中村 日出代議員

鹿島城大手門の修理について

質問一 大手門の県重要文化財としての価値について。

答弁 1807年に鹿島城が完成し、大手門は翌年建立された。高麗門という形式の門で、城郭建造物は少なく、貴重な文化財である。

質問二 大手門の耐震診断の目的は。

答弁 平成25年度に本格修理までの耐震性能の評価、補強計画案、工事費の積算の目的で行った。

質問三 診断では安全確保水準の目標を満たしておらず、大地震が発生した場合危険との見解が示されているが。

答弁 震度6から7程度の大地震が発生した場合に倒壊する可能性があると考えられる。

質問四 ここは通学路で地震が発生すれば危険である。

安全安心の確保のために総務課も協力してもらいたい。

答弁 関係各課と協力していく。

意見 市民からは、門を安全安心のために早く修理してもらいたい。色については朱色でお願いしたいとの要望である。

参考 安全確保水準とは、大地震時に倒壊せず中規模地震時に機能が維持できる基準。

子どもの貧困調査について

質問一 子供の貧困調査について。

答弁 児童手当受給者は令和2年度末現在で、主たる生計者が収入250万円未満(所得167万円)の世帯が推計488世帯。その中で、一人親世帯の受給者が284世帯で約58%となっている。

子供の貧困問題解決策としては、一人親世帯の支援は欠かせない。

質問二 子供の貧困対策は。

答弁 相談体制を強化し生活困窮、家庭相談の支援をしていく。また子供の貧困対策計画策定を検討する。

質問三 佐賀県の子供の生活実態調査で、週1回以上欠食3割との報告。この調査を活用する計画があるか。

答弁 報告書を活用することで、世帯の収入の違いや一人親世帯への傾向を踏まえた対応ができる。

意見 子供達が生まれ育った環境で左右されてはならない。支援の充実を。



池田 廣志議員

人口減少社会でのまちづくりと子育て支援について

長期的なまちづくりと子育て支援

質問一 若い人を鹿島に留めるための施策は。

答弁 鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、ものづくりをさらに磨き上げ、鹿島ならではの仕事を生み出すと定め、若者の定住促進を図っている。

質問二 「海道するべ」の取り組みが新たな雇用に繋がるか期待されているが、雇用の拡大には繋がっていないので、国道207号バイパス沿線を開発すべきと思うが。

答弁 当地域は農業振興地域で生産性が高く、土地改良事業で暗渠排水事業を実施している。市内では、北鹿島地区には沿道サービス型の企業の進出が続いており、人口減少対策としても有効な取

り組みと思うので、現行の都市計画マスタープランを見直しについて、関係機関と協議する。

質問三 県立大学を誘致し、知事が言われる「人づくり」と町中を歩く人を増やすべきと思うが。

答弁 県と県南西部地域の振興策を協議する中で、佐賀県2019総合計画の高等教育機関整備計画に沿うのか意見を交換している。

質問四 子供達が喜んで利用する遊具をエイブルに隣接する中川児童公園に整備すべきと思うが。

答弁 市役所北側の駐車場の一部を潰すことになるので、改めて検討する。

雨期が迫る中、防災対策は

質問 雨期が迫る中、防災対策をどう考えているか。

答弁 多良岳山系から有明海までの河川は、勾配が厳しく短時間で流れ下るので、河川管理者の県と水害対策について協議する。また、農業用ため池の事前放水については、地元の管理者と協議する。

質問 地域公共交通で定めているバス路線は、祐徳稲荷神社の観光客を市内観光地に取り込めていない。

答弁 ご指摘の佐賀線・武雄線は浜三ツ角から、佐賀・武雄方面に戻るので、浜駅前までの新路線の開発と、嬉野線は久保山経由のため、その方策を関係機関と協議する。

交通基盤の整備と今後の対策は

質問 道の駅鹿島の運営について。

答弁 市は道の駅鹿島をどうとらえているのか。

答弁 干潟体験など有明海と濃厚に触れ合うことができる、成長を続ける市内有数の観光スポットと考える。



樋口 作二議員

道の駅鹿島について

道の駅全体の運営について

質問一 市は道の駅鹿島をどうとらえているのか。

答弁 干潟体験など有明海と濃厚に触れ合うことができる、成長を続ける市内有数の観光スポットと考える。

質問二 道の駅鹿島の運営団体をどうとらえているのか。

答弁 鹿島市と地元団体は、緊密な連携で道の駅鹿島を運営しており、その努力に感謝している。

質問三 農産物等の直売所をどうとらえているのか。

答弁 市内でも家族農がほとんどで、高齢者や女性が活躍する自給的農家もかなり多い。直売所は、地元の消費者と出品者をつなぐ有効な施設と考える。

質問四 千菜市号の活動をどう評価しているのか。

答弁 交通が不便な中山間地で、買い物困難な市民を支えるありがたい取り組みである。

質問五 七浦海浜スポーツ公園の中に道の駅鹿島はあるが、問題はないのか。

答弁 道の駅鹿島の敷地すべてが七浦海浜スポーツ公園に指定されているが、現在は観光施設としての機能が優先している。担当課と調整して活動しているので問題は感じない。

質問六 干潟展望館の活用はどう考えているのか。

答弁 現在の場所は、新しい計画の道路区域になつているので、解体も含めて県や地元団体と協議して有効な活用を図りたい。



道の駅鹿島

地方自治体の在り方について

質問一 市長は、地方自治体の在り方をどう考えられているのか。

答弁 過疎地帯の地方自治体には様々な課題があるが、鹿島市の最大の課題はやはり財政問題である。



中村 和典議員

退任される市長へ

質問一 次の市長に託す重点施策について。

答弁 12年間与えられた条件の中で精一杯全力投入してきた。次の市長に何を託すかは、後継者指名に繋がるので遠慮したい。市の重点施策の頂上は市民憲章だと思つた。そこに辿り着くまでの道筋が総合計画である。

質問二 鹿島の未来像について。

答弁 どういうまちになるだろうか、これも言えないが、鹿島には7つの顔と8つの色があり、モノづくりが得意である。軟らかい酒やかまほこから硬い金属工業まで、共通しているのは、熱管理に非常にたけているのでそれを生かしたほうが良い。

もう一つは小さな自治体であるため、国・県とのタテの関係、近隣市町

とのヨコの連携をしっかりとることが大切である。

退職される4名の部長へ

質問一 部長として腐心したこと、また、やり遂げたことについて。

答弁 市民部長として、4課を所轄しマイナンバーカードの普及、市税の収納率向上、3歳児以上の幼児教育の無償化、放課後児童クラブの拡充、特に、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種については、地元医師会の協力、市民のご理解のもと適切な対応など常に市民に寄り添った仕事が出来た。

産業部長として、地域産業・地域経済の活性化のために必要な支援を行ってきた。遊休農地解消のため、関係者のご協力により、農業法人の大

規模参入が実現出来た。災害復旧事業についても、関係者や建設業者の協力により対応が出来た。職員には大変感謝している。

建設環境部長としては、事業課を2課抱えているため、地元の要望に応える予算の確保に苦慮した。鹿島警察署の移転候補地を選定し用地買収まで取り組んだ。技術面で頑張ってくれた部下に感謝している。

総務部長としては、大雨災害や新型コロナウイルス対策など、危機管理能力を問われる仕事が多かった。避難勧告や避難指示を出すとき、タイミングや判断基準等自分の判断で、ためらわずに出せるようになった。皆様に感謝します。

断基準等自分の判断で、ためらわずに出せるようになった。皆様に感謝します。



松田 義太議員

鹿島市公共施設等 総合管理基本方針について

質問一 市内の多くの公共施設は老朽化が進み、今後一斉に改修や更新の時期を迎える。2017年に鹿島市公共施設等総合管理基本方針が策定されたが、その後、個別施設計画は策定されたのか。

答弁 個別施設計画は、令和3年3月に策定し、各施設の進捗管理は、企画財政課が行っている。

質問二 この計画は、財源も含め策定されたのか。鹿島市中期財政計画にも反映されていないと思うが。

答弁 財源は含んでいない。今後、個別の案件については精査し、国・県の補助事業等を研究し取り組んでいきたい。

質問三 今後、市内公共施設の中で、市庁舎の維持管理が課題であり、耐震を含めどのような状態であるのか。

答弁 耐震の診断結果について、市庁舎1階から4階の部分が基準値を満たしておらず、震度6強〜7程度の大地震に対して、倒壊または崩壊の危険性があるという結果であった。

質問四 市庁舎の個別計画、建替、大規模改修等、どのような検討がなされているのか。

答弁 市庁舎については、施設の果たす役割、機能等を考慮し、令和7年までに計画を検討したい。

質問五 鹿島市陸上競技場の芝生の状況について、養生期間や利用制限など市民の方々から様々な意見を聞くが、現状は。

答弁 芝生の維持管理に努めてきたが、経年劣化も含め傷んでいる状況なので、今後、張り替え等検討していきたい。



市庁舎



伊東 茂議員

退職される四人の部長と 樋口市長に行政改革、 今後の「まちづくり」について

質問一 (市民部長) 庁舎一階、来庁者の移動距離の動線、視認性の高いサイン表示について。

答弁 一階フロア4つの課が密接に連携し窓口対応に不備がないように心掛けています。

関連する手続き、サービスを一か所で提供するワンストップサービスを考えたが、現状の庁舎の構造では断念せざるを得なかった。

質問二 (産業部長) 一次産業から商工業における本市の産業構造ビジョンの再構築について。

答弁 基本的には第7次総合計画に則って進める。今後はあらゆる分野で、産業構造の急速な変化が予想されるが、柔軟性と早急な対応、デジタル化を進めなければならないと考える。

質問三 (建設環境部長) ニューディール構想は鹿島駅前再整備で完結となるのか。

答弁 中川エリアの整備、警察署移転、県現地機関の見直し、新世紀センター建設、公的施設の設定などが終了し、市民会館建設、鹿島駅前再整備で10項目の構想が完了する。

質問四 (総務部長) 組織・名称の見直し、担当各課の再編統合について。

答弁 毎年、必要に応じ組織の見直しを行ってきた。今後の課題は「ふるさと納税」寄付増加に向けた組織体制が必要と考え、職員の業務効率化に向けたデジタル化を推進する必要がある。

質問五 (市長) 今後の鹿島市像と課題と展望。

答弁 まず、財政の健全化が一番である。次に国と県との関係強化が必要。



福富まで開通した有明海沿岸道路(福富インター)

鹿島までの沿岸道路延伸498号、高規格道路の整備については近隣市町との連携は欠かせない。友好関係を構築すべきである。

鹿島にはまだまだ埋もれた素晴らしい素材が数多く眠っている。

新年度予算審議 討論 (議案第3号〜8号)

反対討論

松尾 征子議員

引き続きコロナ感染症拡大などにより市民の命と暮らしは厳しい状況に追い込まれ、市の経済は先が見えない状況にある。建設が進んでいる市民会館も財源がどこまで増えるかわからない。鹿島駅前開発案もある。

今、市がやることは、莫大な金を使った建設事業ではなく、市民の暮らし、経営を立て直すために財源を使い、市民の暮らしを援助すること。進学の新しい制服を購入できない家庭もある。

最後に、市の行財政は公平、公正でなくてはならない。令和2団体に支出される丸抱えの活動補助金については、いまだに改善されていない。

賛成討論

伊東 茂議員

新年度予算は市長改選期を前に考慮され、義務的経費、継続的事業、既に決定されている事業を中心に計上された骨格予算として総額156億3600万円を編成されている。市民サービスの維持・向上を念頭に、定住促進、子育て支援など地方創生に向けた「まちづくり」への予算が計上されている。

歳入内容は自主財源の全体に占める構成費は33.1%であり、国や県からの依存財源に頼る状況は楽観できない。

しかし、本市に限らず全国各地方自治体の多くがこの状況下にある。

国保、後期高齢者医療特別会計は、被保険者への課税は厳しいものと承知している。しかし、若い世代に多くの負担を背負わせるわけにはいかないと考える。

全ての事業内容が諸手を挙げて賛成とは言えないが、第7次総合計画実現のために適正と判断する。

タブレット端末導入について

タブレット導入までの目的と経緯 報告=ICT推進プロジェクトチーム

タブレット導入までの目的と経緯

目的 議会運営の効率化・遠隔会議の導入 情報伝達の迅速化・ペーパーレス化

経緯

- 令和元年6月ICT推進プロジェクトチームを設置
- 令和元年9月県内各地の導入状況を調査
- 10月先進地視察鳥栖市
- 令和2年7月先進地視察武雄市
- 8月タブレット端末操作デモを実施
- 12月ICT活用推進に関する提言書を市長に提出
- 令和3年3月タブレット端末導入経費を計上・新年度予算で可決
- 8月タブレット端末を導入し操作研修を行う
- 9月本会議にて使用開始



機種・ソフトについて アイパッド(レンタル) 会議用ソフト サイドボックス 情報共有ソフト ワウトーク

可能になった事 クラウド上での議案書等資料の閲覧・メモ。迅速な情報共有・オンライン会議。

予算について 初年度 165万円 2年目以降195万円

今後の課題 個々の議員の操作・知識のスキルアップをはかり、ほとんどの事がタブレット端末で処理できるように勉強会をまめに開いていきたい。またそのために必要なソフトの導入を検討していきたい。

導入に際しての苦労話

まず、何と言っても予算確保。予算確保する為に議会のあらゆる経費を見直し削れるところは削って導入の予算に充てました。その後、企画財政課との直接の話し合いを行い、さらに議会予算を削り再度話し合い。企画財政課了承。最終は市長査定。ICTの必要性をまとめ市長に議会から提言書を提出。必要性が認められ了承を得た。タブレット端末導入については、約10年前からプロジェクトチームを作って取り組み、歴代の委員長の頑張りもあり、ようやく令和3年3月導入の運びになった。

【意見書】

意見書第1号 有明海再生の対策と赤潮被害への支援を求める意見書

佐賀県南部に広がる有明海は、地元では「まいうみ」の愛称で親しまれ、かつてアゲマキやワラスボをはじめとする豊かな海産物にあふれ、地域住民の命をつなぐかけがえのない「宝の海」であった。しかし、近年では、次第に生き物の多様性が失われ、魚介類の生息数も激減したことで、人々の心も「まいうみ」から離れていくように感じられる。

一方で、まだ全国的に見れば、有明海は広大な干潟などの貴重な自然環境が残る素晴らしい海であり、その豊かな海を子々孫々に残していくのは、有明海の恵みを受けて今を生きる私たちの使命である。

現在、有明海において、魚介類の漁で生計を立てる漁業者は大きく減少し、海苔養殖業者がほとんどであるが、その海苔の生産量の落ち込みが、ここ数年、佐賀県有明海西部で顕著となっている。とりわけ今冬は、海水を浄化する二枚貝の死滅や赤潮被害で、秋芽海苔の生産が大打撃を受け、冷凍海苔も栄養塩不足等による色落ちや成長阻害が甚だしく、これまで多額の設備投資を行い良質な佐賀海苔を全国に提供してきた鹿島市、太良町及び白石町の多くの海苔養殖業者は経営の危機に瀕している。

有明海における生物相の貧困化の原因には、様々な理由が挙げられているが、いずれにしても人間の活動による有明海の自然環境の改変が一因と考えられ、原因の究明は喫緊の課題となっている。特に諫早湾干拓事業が、地理的に近い佐賀県南西部に及ぼす影響については、早急な調査及び対策が求められる。

よって国においては、長年続いた諫早湾干拓堤防開門訴訟の判決如何にかかわらず一刻も早い有明海再生へ向け、下記事項について実施されるよう強く要望する。

記

- 1 「有明海及び八代海等を再生するための特別措置に関する法律」に基づき、水産資源回復のための再生策を確実に実行するとともに、今冬の有明海西部における海苔養殖業の赤潮被害に対する支援・救済を行うこと。
- 2 有明海西部の海況を改善するため、諫早湾干拓堤防開門調査も含めた有明海の調査研究を行うこと。
- 3 有明海再生のために国及び関係者が参加する話し合いの場を設け、協議することにより水産業や環境に関する問題の解決を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

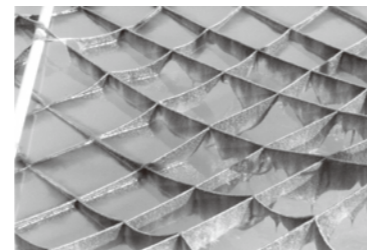
令和4年3月3日

佐賀県鹿島市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
内閣官房長官 様
農林水産大臣 様
環境大臣 様
財務大臣 様



写真左から樋口文教厚生産業委員長、土井県議、角田議長



色落ちした海苔

【新年度予算審査特別委員会 審査報告】

鹿島市議会
議長 角田一美様

新年度予算審査特別委員会
委員長 福井正

新年度予算審査特別委員会 審査報告書

令和4年3月3日の本会議において付託されました下記6議案については、3月8日、9日、10日、14日及び15日に質疑審査を行いました。

審査の結果は、下記全議案について、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

記

- ・議案第3号 令和4年度鹿島市一般会計予算について
- ・議案第4号 令和4年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- ・議案第5号 令和4年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
- ・議案第6号 令和4年度鹿島市給与管理特別会計予算について
- ・議案第7号 令和4年度鹿島市水道事業会計予算について
- ・議案第8号 令和4年度鹿島市下水道事業会計予算について

【総務建設環境委員会 審査報告】

鹿島市議会
議長 角田一美様

総務建設環境委員会
委員長 中村和典

総務建設環境委員会 審査報告書

令和4年3月2日の本会議において付託されました「議案第10号 鹿島市空き家等の適正管理に関する条例(全部改正)の制定について」は、3月4日に委員会を開き、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

【決議】

決議第1号

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議し、即時撤退を求める決議

ウクライナをめぐる情勢については、昨年以來、国境付近におけるロシア軍増強が続く中、我が国を含む国際社会が緊張の緩和と事態の打開に向けて懸命な外交努力を重ねてきたが、2月24日、ロシアはウクライナへの武力攻撃、侵略を開始した。

今回の行動は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の明確な違反であり、国連憲章の重大な違反である。この事態は、法の支配に基づく国際社会の秩序に対する挑戦であり、その根幹を揺るがしかねない暴挙である。

さらに、国際社会の強い自製の求めにもかかわらず、ロシアは侵略行為を続け、ウクライナでは、子どもを含む多くの一般市民の尊い命が奪われ、被害は今も拡大している。このようなロシアの力による侵略行為は断じて認められず、非難せざるを得ない。

また、ロシアは核戦力の特別態勢を発動し、核の使用さえも辞さないと示唆しており、原子力発電所への攻撃も行っている。このことはウクライナだけでなく、全世界の脅威となっており、日本が唯一の戦争被爆国であるとともに東日本大震災による原発事故を経験したことを踏まえると、断じて容認することはできない。

鹿島市議会は、ウクライナに一刻も早く安寧の日々が訪れることを願い、日本政府が、経済制裁や人道支援において国際社会と緊密に連携した措置をとることを支持するものであり、ロシアに対して、即時の攻撃停止と部隊の完全撤退を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月18日

佐賀県鹿島市議会

令和3年度 議会報告会の取りやめについて(お知らせ)

令和2年1月から、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大が続いておりましたが、令和3年秋ごろから感染状況が下火になってきましたので、今年度の「議会報告会」を是非とも開催したいとの思いで準備を進めてまいりましたが、年末ごろから鹿島市内でも多くの感染者が出るようになりましたので、急遽、1月28日に予定していた開催を取りやめました。

議会報告会は、議員が市民の方に対し、直接、議会活動の内容を説明できる機会であり、市議会としても取りやめは苦渋の決断となりましたが、感染拡大防止のためにやむを得ないと判断した次第です。

なお、今後とも市民の皆様の声を鹿島市の行政運営に反映させるために議員一同、議会活動の充実に努めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【要望書】

有明海西南部における赤潮被害への支援に関する要望書

佐賀県知事 山口 祥義 様

佐賀県におかれましては、有明海再生のため「有明海再生に関する佐賀県計画」に基づき、漁場環境改善などの再生事業や調査研究の推進などに取り組んでいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、水産資源に恵まれ、かつて「宝の海」と称された有明海は、近年、生き物の多様性が失われ、二枚貝をはじめとする魚介類の激減によって漁業者にとって大変厳しい環境となりつつあります。

とりわけ有明海西南部の鹿島市、白石町及び太良町の花巻養殖業については、深刻な赤潮被害や栄養塩不足等による色落ちにより、今冬は収穫量の落ち込みが激しく、例年の半分以下という、これまで経験したことのない不作となったことで、経営の危機に直面しております。これは、堅調な収穫量を確保した有明海東部と比較すれば、その差が歴然としており、有明海西南部の花巻養殖業者は、将来、廃業を検討せざるを得ない事態に陥っています。

また、去る3月5日に行われた農林水産大臣と佐賀県漁協関係者との意見交換会では、有明海再生のための原因究明調査について、大臣から踏み込んだ発言はなく、国の姿勢に明るい展望を見出すことができない状況です。

このような中、鹿島市議会、白石町議会及び太良町議会では、1月に今冬の花巻不作の実態を把握するための現地調査や漁協関係者からの聞き取りを行うとともに、1市2町の3月定例会において、「有明海再生の対策と赤潮被害への支援を求める意見書」を別紙のとおりそれぞれ全会一致で可決いたしました。

つきましては、花巻生産量日本一の佐賀県にあって、近年、赤潮被害等により不振が続く有明海西南部1市2町の花巻養殖業が回復し、今後とも有明海産の良質で美味しい佐賀花巻を全国に提供できますよう、佐賀県のより一層の支援をお願い申し上げます。

令和4年3月29日

鹿島市議会 議長 角田 一 美
白石町議会 議長 片 渕 栄二郎
太良町議会 議長 坂 口 久 信



写真左から
竹下泰信経済建設常任委員長(太良町)
坂口久信議長(太良町)
片渕栄二郎議長(白石町)
山口祥義佐賀県知事
角田一美議長(鹿島市)
樋口作二文教厚生産業委員長(鹿島市)
前田弘次郎産業建設常任委員長(白石町)